

8万人の市民とともに、新たな一歩を

稲葉正吉新市長が誕生しました

10月16日に行われた蒲郡市長選挙の結果、稲葉正吉氏が初当選し、第7代蒲郡市長に就任しました。稲葉正吉新市長は、11月7日、大勢の市民や市職員が迎える中、市役所に初登庁しました。



▲選挙管理委員会より当選証書を受け取る稲葉新市長

スピード感ある市政で「魅力のある蒲郡」をつくる

10月16日に執行されました市長選挙におきまして、第7代蒲郡市長に就任させていただきました。ご支援をいただきました多くの市民の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。

私のこれからの蒲郡市の町づくりについてありますが、市民の皆さんと一緒に元気のあふれる蒲郡市を築くことが第一の目標であります。そのために、まずは市民の皆さんが安心して暮らせる町、住んで良かったと思える町づくりを進めながら、元気と活気のある蒲郡市を築いてまいりたいと考えております。

また、これからの町づくりの考え方として、10年先、20年先、次世代の子どもたちにきちんとバトンタッチできる蒲郡市の行財政運営を進めていくことも、これからの町づくりの基本的な私の理念であります。

これからの蒲郡市の人口構成は、さらに少子高齢化が進んでまいります。これは、蒲郡市だけでなく、我が国、日本全体の社会問題として捉えておりますが、将来の経済社会を支えていく世代が少なくなっていく中で、このままでは、同じ行政サービスは行えませんが、今のうちから堅実で、健全な蒲郡市の行財政運営を進めていかなければならないと考えております。

私のこれまでの実務経験を生かし、元気と活気にあふれる蒲郡市の実現に向けて、全力を傾注して市政運営に取り組んでまいります。市民皆様の一層のご支援を賜わりますようお願いいたします。市長就任にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

蒲郡市長

稲葉正吉

稲葉新市長プロフィール

- 生年月日 昭和27年3月22日生まれ
- 家族 妻と長男親子4人の6人家族
- 学歴 愛知大学法経学部法学科卒
- 職歴 蒲郡市役所就職(昭和49年4月) 企画部秘書課長(平成16年4月～) 議会事務局長(平成20年4月～) 蒲郡市副市長(平成22年4月～平成23年7月)
- 趣味 ヨット、釣り、旅行